

五湖茂

特別  
入5  
6673  
69  
早稲田大学図書館



安永六丁酉天



祝晨

松より

初ふりもの

野明寺  
守溪

はるの孔

吾手集

正月や又さ布どの物皆たの	た潔
大板やあつたふきのふふ草	自成
ういさのぬく梅ふ雑煮らふ	吐供
明はらまのいらやま川	野宮
替へはふ款をあらしては代の喜	一雛
書初や片の札を意方とし	里友
橙くやま川家倒とくも鐘	柳枝
めくたのともぬくま	女の夕
こもゆ梅もふと川小初笠ひ	お野
香のーきせ小町初きて梅のむ	蘭交
一板のてし箋ひう	福夢景
	浪伯

月次連中

門松や松のたうこれぞ小いほ 仙化  
 初鈴や初くぐりのもあうも 菊蔭  
 賑やう小春の申小むの喜 既留  
 又と川世話もあうも 可林  
 賣初や買入も例の菊ひ顔 右壺  
 若水や流うはむも泉川 一扣  
 家く一菊ひ川もあうは酒 花存  
 増はくもあの擗まては鈴はさ 其泉  
 狂ふ小も保うあうは祝ひ月 巴郡  
 屠獲の香やさかふ砂もあうも 有志  
 元日も人間の母もあうはあんで 普賢

小等小山もあうはあんで 和火

初會

新の今く又まを  
祝う

満つれふ山も新小す川を原

たぬ

あしや屠獲のけ一たう 古溪

ありはくも人も長者の喜めりて 菊蔭

賑振る馬のけくはら 普賢

あもとも日新かすも菊の月 仙化

若の若れとかむは花の 泉

祈りの協目もぬぐは陀羅尼品 巴  
 又若の伎多川と持せ家 一扣  
 婦川のいり川のと若小流と の林  
 ほひぬえりあとかしこも 九  
 折し今どの前句れをあら 和木  
 か方とほひもよのふせり 出壺  
 二 沼の合ひの井戸も裏町四角 既  
 海も移もいまむ井風 青志

お 難身行一吸

申 七

正月の用言もあはれ小  
 洞の伝水もいにはとて  
 地下に除根を  
 ちりてん

まじりてふきり 海の

きりゆき

新明堂

